

ランサムウェア対策強化で「i-FILTER®」「FireEye®」の 連携オプションを霧島酒造が導入

～Web サイトのアクセスで感染し
約 12,000 の社内業務の共有ファイルが改ざん被害
未知の脆弱性攻撃に対応した FireEye NX シリーズと
危険な Web サイトをブロックする「i-FILTER」の連携が導入の決め手に～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、情報漏洩防止と内部統制を推進する企業・官公庁向け Web フィルタリングソフト「i-FILTER(アイフィルター)」と、高度なサイバー攻撃の対策製品・サービスで業界をリードするファイア・アイ株式会社(所在地:東京都千代田区、代表:茂木 正之、本社所在地:米国カリフォルニア州ミルピタス、以下 FireEye)の Web セキュリティ NX シリーズとの連携オプションにおいて、ランサムウェア対策強化として霧島酒造株式会社(本社:宮城県都城市、代表取締役社長:江夏 順行、以下 霧島酒造)に導入されたことを発表いたします。

昨今多発する、高度化・複雑化する「標的型攻撃」に加え、ランサムウェアの感染による被害も増加しています。霧島酒造では、標的型攻撃対策ソフトウェアをはじめとするセキュリティ対策を導入し、利用者が安心してアクセスできる情報システムを構築していましたが、2016年3月末にある部門の端末がランサムウェアに感染し、約12,000の社内業務の共有ファイルが改ざん被害に遭遇しました。

霧島酒造はランサムウェアの感染原因を突き止め、外部の Web サイトへのアクセスであったことが確認できたため、Web フィルタリングを導入することで従業員に危険な Web サイトにアクセスさせない対策を重要視し、「i-FILTER」の採用にいたしました。また、「i-FILTER」と FireEye NX シリーズの連携により運用管理が自動化され管理者の作業負担の大幅な軽減も実現することから、標的型攻撃をはじめ、Web 経由で侵入してくるマルウェアの防御やゼロデイ攻撃といった未知の脆弱性に対する攻撃などに非常に有効なソリューションである FireEye NX シリーズも導入しました。

年々、複雑化するサイバー攻撃における対策強化の重要性が高まるなか、デジタルアーツは2014年12月より FireEye の Web セキュリティ NX/CM シリーズとの連携オプションを販売開始し、連携実績は既に数十社にのぼります。現在も両社の連携におけるニーズが高いことから、標的型攻撃対策をより強固にし、あらゆる企業が自社の情報漏洩対策を簡単に実現できるようにするため、本日より FireEye との連携方式に新方式を採用した新バージョンの連携オプションを提供開始いたします。今後は両社の連携による Web セキュリティ対策効果をより打ち出し、販売強化に向けた協業推進をしてまいります。

デジタルアーツは、日本の企業・組織にとって今後ますます大きな脅威となる標的型攻撃における防御・対応ソリューションをより迅速に、広範囲にご提供し、安心してインターネットに接続できる環境を提供すべく、お客様の貴重なご意見を製品開発に活かし、更なる製品使用満足度向上を目指してまいります。

【霧島酒造の導入事例詳細】

<http://www.daj.jp/bs/case/> ※事例はダウンロード可能です。

【「i-FILTER」「FireEye」連携オプション詳細】

http://www.daj.jp/bs/i-filter/option_relation/fe_adapter/

以上

■ 「i-FILTER」について <http://www.daj.jp/bs/i-filter/>

「i-FILTER」は、情報漏洩対策とWebの有効利用のための企業向けWebフィルタリングソフトです。国内におけるWebフィルタリングソフトのベンダー別売上金額シェア(2015年度)においてNo.1を獲得しました(2016年6月株式会社アイ・ティ・アール発行「ITR Market View:サイバー・セキュリティ対策市場 2016」)。業界最大級のWebフィルタリングデータベースと、特許を取得したフィルタリングテクノロジー「ZBRAIN」により、業務中の閲覧が不適切なWebサイトを高い精度で遮断します。また、Webメールの利用や掲示板の書き込みなどといった、Web経由の情報漏洩を防ぐとともに、その内容を記録・確認・保存することが可能なため、内部統制対策としても有効なソリューションです。「i-FILTER」は、すでに全国の企業・官公庁 7,300 団体以上、学校・教育機関 31,000 校以上に導入されています。(2016年3月末現在)

■ デジタルアーツについて <http://www.daj.jp>

デジタルアーツは、フィルタリング技術を核に、情報セキュリティ事業を展開する企業です。製品の企画・開発・販売・サポートまでを一貫して行い、国産初のWebフィルタリングソフトを市場に出したメーカーならではの付加価値を提供しています。また、フィルタリング製品の根幹を支える国内最大級のWebフィルタリングデータベースと、世界27の国と地域で特許を取得した技術力が高く評価されています。国内でトップシェアを誇るWebフィルタリングソフトとして、家庭及び個人向け「i-フィルター」・企業向け「i-FILTER」「i-FILTER ブラウザー & クラウド」を提供する他、企業向けとしてゲートウェイ型電子メールセキュリティソフト「m-FILTER」、クライアント型電子メール誤送信防止ソフト「m-FILTER MailAdviser」、セキュア・プロキシ・アプライアンス製品「D-SPA」、ファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」を提供しています。

※ デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER、m-FILTER/m-FILTER MailFilter/m-FILTER Archive/m-FILTER Anti-Spam/m-FILTER File Scan、D-SPA はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。

※ FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。

※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
